



# 和牛放牧による耕作放棄地の解消と集落環境の改善

～放牧によるイノシシ対策～

耕作放棄地が増加している集落において、イノシシの隠れ場となっていた放棄地を住民できれいにし、和牛を放牧することにより放棄地の解消を図るとともに竹林整備を行い、出没しづらい集落環境の改善を図った。

放牧地と作付農地のゾーニングを図ったところ、野生動物の出没が少なくなり被害が減少した。

市町村	富岡市		
地区	下高尾大島		
集落戸数	10戸	農家戸数	9戸
農地面積	1,503a		
主な作目	水稲、露地野菜		
加害獣種	イノシシ、シカ、タヌキ		

## 背景

林縁部の農地の多くが耕作放棄された荒地となり、周囲の水田でイノシシ等の被害が多発していたことから、耕作放棄地の解消と集落環境の改善を図る必要があった。

## 集落調査



## 事業内容

### 【主な取組】

- ◆ 繁殖和牛放牧による侵入防止効果の検証
- ◆ センサーカメラによる出没調査の実施

### 【取組経過】

- H23年 5月 現地調査  
 6月 環境調査  
 7月 放牧展示圃の設置（繁殖和牛3頭）  
 7～10月 センサーカメラ設置  
 H24年 1月 対策効果の検証（聞き取り調査）



## 成果

- ◆ 和牛の放牧による家畜ゾーニングにより被害が軽減でき、また耕作放棄地の一部解消が図れた。
- ◆ 事業を契機に集落内の竹林を整備することで野生動物の隠れ場を減らすことができた。
- ◆ 被害が深刻な林縁部等での野菜等の作付けを減らしたところ、野生動物の出没は見られなくなり被害は減少した。



## 地区代表者コメント

放牧後、イノシシ被害が大幅に減り、安心して農作物を作ることができるようになった。  
若い人が居ないので対策を実施する労力が足りないが、タヌキが増えているので捕獲を強化したい。



取組が新聞にも紹介



## 事後評価

指標	A	B	C	D
被害	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
集落環境	改善した	やや改善した	変わらない	悪くなった
出没・目撃	減った (5-10割)	減った (-5割)	変わらない	増えた
集落ぐるみの認識	出来ている	概ね出来ている	一部出来ている	出来ていない
集落ぐるみの体制	出来ている			出来ていない
対策の実施	よく実施している	概ね実施している	一部実施している	実施していない
取組効果	効果あった	概ね効果あった	一部効果あった	効果無かった
継続性	継続している	概ね継続している	一部継続している	継続していない
波及性	波及した	概ね波及した	一部波及した	波及していない
取組度	大変良い	良い	やや良い	不十分
達成度	達成できた	概ね達成できた	一部達成できた	不十分
満足度	大変満足	満足	やや満足	やや不満・不満

## センター評価

集落戸数が10戸と少ないうえに、全戸で高齢化していることから耕作放棄地が非常に多い。今後は集落外からの労力活用を検討する必要がある。

## 課題

耕作放棄地を増やさない方策を検討する必要がある。